

授業科目名	看護の統合と実践臨地実習Ⅱ (チーム医療・地域包括ケアシステム)		担当教員	◎久保幸代、栗栖千幸、松本幸枝、千葉恵子、 中島洋一、路 璐、青山美紀子、下睦子、 潮田千寿子、鈴木玲子、吉野妙子、高橋玲子、 松丸直美、山田案美加、高橋智子	科目ナンバリング NM470
必修	開講年次：4年前期	単位：3単位	授業形態：臨地実習135時間		

【授業概要】

チーム医療における看護師の役割について理解し、複数患者のケアの実践を通してリーダーシップとメンバーシップ機能について学ぶ。看護チーム間においてコミュニケーションを図るとともに、医療チームのメンバーの一員として多職種との連携と協働について学ぶ。また、多職種連携・協働の体験を通して包括的な支援・サービス提供体制について理解する。

【達成目標】

1. チームの一員として複数の患者を受け持ち、援助計画を立案できる。
2. 立案した援助計画について、患者の状況に応じて一部実施し、評価できる。
3. 看護チームにおけるリーダーシップとメンバーシップについて記述できる。
4. 看護チームにおける看護管理の必要性和看護管理者の役割について記述できる。
5. チームの一員として多職種との連携・協働について記述できる。
6. 地域で生活する人々の包括的な支援・サービス提供体制と看護師の役割について説明できる。

【履修条件】

「チーム医療と看護システム」を履修していること。

【授業計画】

実習領域	実習計画	担当教員
クリティカルケア看護学	1～2日目：オリエンテーション、課題学習 3～6日目：消防署・救命救急センター・カテテル室・手術室実習 7～13日目：複数患者の看護実習(5日間)、看護管理実習(1日)、 リーダーシップ研修・他職種連携(1日)	◎松本 幸枝 路 璐 何雨竹
がん看護学	14～15日目：学びのまとめ・発表 1～2日目：オリエンテーション、課題学習 3～6日目：化学療法室・放射線治療室・リンパケア外来・ストマー外来・ フローラファミリー実習 7～13日目：複数患者の看護実習(5日間)、看護管理実習(1日)、リーダーシップ研修(1日)、 他職種連携(1日)	◎千葉 恵子
リハビリテーション看護学	14～15日目：学びのまとめ・発表 1～3日目：オリエンテーション、課題学習 4～5日目：リハビリテーション室実習 6～13日目：複数患者の看護実習(5日)、看護管理実習(1日)、リーダーシップ実習(1日)、多職種連携(1日)	◎久保 幸代 高橋 智子
小児看護学	14～15日目：学びのまとめ・発表 1～2日目：オリエンテーション、課題学習 3～6日目：小児科外来、小学校実習 7～13日目：複数患者の看護実習(5日)、看護管理実習(1日)、リーダーシップ実習・多職種連携(1日)	◎吉野 妙子 高橋 玲子
認知症看護学	14～15日目：学びのまとめ・発表 1～2日目：オリエンテーション、課題学習 3～7日目：グループホーム実習、認知症外来、看護管理実習(1日) 8～13日目：複合型サービス：複数患者の看護実習(5日)、リーダーシップ実習・多職種連携(1日)	◎青山 美紀子 山田 案美加
在宅療養看護学	14～15日目：学びのまとめ・発表 1～5日目：オリエンテーション、課題学習、課題発表 6日目：実習場所別オリエンテーション、情報収集 7～14日目：複数患者の看護実習(4日)、看護管理実習(1日)、多職種連携(3日)	◎栗栖 千幸 鈴木 玲子
地域精神看護学	15日目：最終カンファレンス(学びのまとめ・発表) 1日目：オリエンテーション、課題学習 2日目：病院オリエンテーション・看護管理実習(1日) 3～7日目：複数患者の看護実習・リーダーシップ(5日) 8日目：学内記録整理 9～13日目：訪問看護・デイケア・外来実習、多職種連携(5日)	◎中島 洋一 松丸 直美
母性看護学	14～15日目：学びのまとめ・発表 1～3日目：オリエンテーション、課題学習、課題提出 4～8日目：病棟オリエンテーション、複数患者実習(4日)、 パートナーシップ実習(同行実習：1日) 9～10日目：学内記録整理、レポート作成 11～12日目：リーダーシップ実習・多職種連携(1日)、看護管理実習(1日) 13～15日目：学びのまとめ、発表、面談	◎潮田 千寿子 下 睦子

【教科書】

担当教員より提示する。

【参考書】

担当教員より提示する。

【評価方法・評価基準】

実習目標への到達度による評価：50%、課題レポート：30%、グループ発表：20%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：講義「チーム医療と看護システム」と各領域看護学臨地実習の学びを整理しておくこと。(2時間)

事後学習：実習に関わる記録を通して振り返りを行うこと。(2時間)

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ、根拠に基づいた看護実践能力、Ⅲ、チーム医療におけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅳ、ヘルスプロモーションと予防の実践能力、Ⅶ、包括的看護実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

実習中のカンファレンスや面接、実習に関わる記録によりフィードバックを行う。

【備考】

看護の統合と実践臨地実習の学びから卒業後の看護実践に役立てることができるよう臨地実習に臨む。
看護師としての5年以上の臨床経験を持つ教員が臨地実習を指導する。